

第193回柏崎しんきん地区内経済指標

(平成24年4月)

柏崎信用金庫

1. 人口・世帯数動向

【単位：人、世帯、％】

| 地区別 | 人口 | | | 世帯 | | |
|-----------|---------|-------|-------|--------|-------|-------|
| | 人数 | 前年同月比 | 前月比 | 世帯数 | 前年同月比 | 前月比 |
| 中心部 | 9,547 | -0.93 | -0.28 | 4,074 | 0.24 | -0.07 |
| 東部地区 | 14,297 | -0.79 | 0.34 | 5,716 | -0.66 | 0.88 |
| 西部地区 | 10,531 | -0.94 | -0.18 | 3,997 | -0.37 | -0.05 |
| 駅南地区 | 6,260 | -0.47 | 0.36 | 2,702 | 0.52 | 0.82 |
| 半田地区 | 3,626 | 0.30 | 0.24 | 1,381 | 0.80 | 0.80 |
| 横山地区 | 5,648 | -0.10 | 0.19 | 1,918 | 1.64 | 1.10 |
| 茨目・田尻地区 | 6,987 | 0.12 | 0.02 | 2,394 | 1.22 | 0.08 |
| 荒浜地区 | 5,023 | -1.83 | 0.03 | 2,013 | -0.98 | 0.14 |
| その他地区 | 20,068 | -1.91 | -0.09 | 7,173 | -0.16 | 0.09 |
| 西山町地区 | 6,172 | -0.69 | -0.17 | 2,151 | 1.03 | -0.04 |
| 高柳町地区 | 1,794 | -3.02 | -0.27 | 817 | -1.92 | -0.24 |
| 柏崎市計 | 89,953 | -0.99 | 0.01 | 34,336 | 0.04 | 0.31 |
| 刈羽村 | 4,854 | -0.49 | 0.06 | 1,572 | 0.00 | 0.19 |
| 小国地区（長岡市） | 6,090 | -1.80 | -0.22 | 2,109 | -0.37 | 0.00 |
| 出雲崎町 | 5,016 | -1.49 | -0.27 | 1,801 | -0.16 | -0.11 |
| 合計 | 105,913 | -1.04 | -0.01 | 39,818 | 0.01 | 0.27 |

（資料出所：柏崎市、各市町村）

地域全体の人口動向は、前年同月比では引き続きすべての市町村・地区で減少しており、柏崎市で906人、0.99％、刈羽村で24人、0.49％、小国地区（長岡市）で112人、1.80％、出雲崎町で76人、1.49％とそれぞれ減少し、全体では1,118人、1.04％の減少となっている。また、前月比においては、柏崎市で13人、0.01％、刈羽村で3人、0.06パーセント増加したものの、小国地区で14人、0.22％、出雲崎町で14人、0.27％減少したため、全体では12人、0.01％減少している。

一方、世帯数は、前年同月比では小国地区で8世帯、0.37％、出雲崎町で3世帯、0.16％減少したが、柏崎市で16世帯、0.04％、増加したことから、全体では5世帯、0.01％の増加となった。また、前月比においては、出雲崎町で2世帯、0.11％減少したが、柏崎市で108世帯、0.31％、刈羽村で3世帯、0.19％増加した結果、全体では109世帯、0.27％増加している。

2. 労働需給状況

【単位：人、倍、％】

| | 柏崎職安 | 新潟県 | 前年同月比 | | 前月比 | |
|----------|-------|------|--------|-------|--------|--------|
| | | | 柏崎 | 県 | 柏崎 | 県 |
| 月間有効求人 | 1,440 | | 19.80 | | -10.55 | |
| 月間有効求職者 | 2,308 | | -13.91 | | 4.10 | |
| 月間有効求人倍率 | 0.62 | 0.82 | 0.17* | 0.17* | -0.11* | -0.01* |

*印は差し引き計算

（資料出所：柏崎公共職業安定所）

景気の同時指標である柏崎職業安定所管内の労働需給状況は、有効求人・求職状況（パートを含む全数）では、月間有効求人数が1,440人と前年同月比で238人、19.80％の増加となり、前月比では170人、10.55％減少している。

月間有効求職者数は、2,308人と前年同月比で373人、13.91％減少し、前月比では91人、4.10％増加している。

以上の結果、月間有効求人倍率は0.62倍と前年同月比で0.17ポイント上回り、前月比では0.11ポイント下回っている。なお、県平均0.82倍と比べると0.20ポイント下回っている。

また、新規求人・求職状況（パートを含む全数）については、月間新規求人数が567人と前年同月比で2人、0.36％の減少、月間新規求職者数が798人と前年同月比で117人、12.79％減少した結果、月間新規求人倍率は0.71倍となり、前年同月の0.62倍に比べて0.09ポイント上回っている。

3. 建築確認申請

【単位：件】

| | 当 月 の 申 請 | | | 平成24年度累計 | |
|-------------|-----------|-------|-------|----------|-------|
| | 件 数 | 前年同月比 | 前 月 比 | 件 数 | 前年同月比 |
| 一 般 住 宅（併用） | 33 | -5 | 8 | 33 | -5 |
| 共 同 住 宅 | 7 | 4 | 7 | 7 | 4 |
| 事 務 所 | 2 | 1 | 2 | 2 | 1 |
| 作 業 所・工 場 | 1 | -1 | 1 | 1 | -1 |
| 営 業 建 物 | 0 | -4 | -1 | 0 | -4 |
| 公 共 建 物 | 0 | 0 | -2 | 0 | 0 |
| そ の 他 | 17 | 8 | 10 | 17 | 8 |
| 合 計 | 60 | 3 | 25 | 60 | 3 |

(資料出所： 柏崎市建築住宅課)

建築確認申請の状況は、当月の申請合計が60件と前年同月比で3件の増加、前月比では25件の大幅な増加となっている。工種別内訳の主な増減をみると、一般住宅(併用)が前年同月比で5件の減少となったが前月比では8件増加しており、共同住宅は前年同月比で4件増加し、前月比でも7件増加している。なお、工種全体の申請内容は、新築が45件となっており、また一般住宅(併用)33件における市内・市外施工業者別の確認申請の状況は、市内施工業者が19件(うち新築15件)、市外施工業者が14件(うち新築10件)となった。

4. 電力使用量

【単位：口、kwh、%】

| | 契 約 口 数 | | | 使 用 量 | | |
|-----|---------|-------|-------|--------|-------|--------|
| | 口 数 | 前年同月比 | 前 月 比 | 使 用 量 | 前年同月比 | 前 月 比 |
| 電 灯 | 65,372 | 0.05 | -0.31 | 22,314 | -4.23 | -16.04 |
| 電 力 | 10,392 | -2.66 | -1.86 | 38,133 | 6.48 | -8.07 |

(資料出所： 東北電力(株)柏崎営業所)

〔 電灯は、家庭・道路照明・一般器機等に100Vの電源。
電力は、工場・スーパー・モーター動力等主に200Vの電源。 〕

契約口数は、電灯が前年同月比で33口、0.05%増加し、前月比では、207口、0.31%減少している。一方、電力においては、前年同月比で284口、2.66%減少し、前月比でも198口、1.86%減少している。

使用量は、電灯が前年同月比で987kwh、4.23%減少し、前月比でも、4,264kwh、16.04%減少している。一方、電力においては、前年同月比で2,324kwh、6.48%増加したが、前月比では、3,351kwh、8.07%の減少となった。

5. ガス供給量・水道給水量

【単位：m³、%】

| | ガ ス 供 給 量 | | | 水 道 給 水 量 | | |
|-----------|-----------|-------|--------|-----------|--------|--------|
| | 供 給 量 | 前年同月比 | 前 月 比 | 給 水 量 | 前年同月比 | 前 月 比 |
| 家 庭 用 | 1,676,680 | -0.21 | -1.62 | 681,155 | -0.03 | 7.38 |
| 営 業 用 | 256,613 | 2.79 | -18.16 | 116,993 | 0.81 | 3.15 |
| 工 場 用 | 720,543 | 21.07 | -10.85 | 141,220 | 26.90 | -3.28 |
| 官 公 学 校 用 | 458,861 | 3.56 | -31.59 | 69,113 | -6.76 | -10.59 |
| そ の 他 | | | | 51 | -75.94 | -15.00 |
| 合 計 | 3,112,697 | 4.86 | -10.98 | 1,008,532 | 2.59 | 3.85 |

(資料出所： 柏崎市ガス水道局)

柏崎地域でのガス供給量は、用途合計では前年同月比で144,517m³、4.86%増加したが、前月比では384,279m³、10.98%減少している。用途別内訳を見ると、前年同月比では、家庭用で減少し、前月比では、すべての用途で減少している。

一方、水道給水量においては、前年同月比で25,479m³、2.59%の増加となり、前月比でも37,431m³、3.85%増加している。用途別内訳を見ると、前年同月比では、営業用、工場用で増加しているが前月比では家庭用、営業用で増加している。

6. 北陸自動車道利用状況

【単位：台、％】

| | 入 口 | | | 出 口 | | |
|-----|---------|-------|-------|---------|-------|-------|
| | 台 数 | 前年同月比 | 前 月 比 | 台 数 | 前年同月比 | 前 月 比 |
| 柏 崎 | 83,405 | 0.13 | -1.89 | 86,096 | -0.33 | -1.53 |
| 西 山 | 40,576 | 5.03 | 7.04 | 37,227 | 6.12 | 8.02 |
| 米 山 | 19,773 | 9.65 | 16.64 | 18,393 | 7.27 | 13.13 |
| 合 計 | 143,754 | 2.71 | 2.77 | 141,716 | 2.24 | 2.57 |

(資料出所：柏崎市産業振興部観光交流課)

柏崎地域の物流指標となる高速道路出入口の交通量は、入口が全体では前年同月比で3,796台、2.71%増加しており、前月比でも3,882台、2.77%増加している。

一方、出口においても、全体では前年同月比で3,111台、2.24%増加し、前月比で3,559台、2.57%増加となっている。

インター別で見ると、前年同月比では、柏崎インターの出口で減少したものの、西山・米山インターでは入口・出口ともに増加しており、前月比では、柏崎インターが入口・出口で減少したが、西山・米山インターとも入口・出口で増加している。

7. 市内民間金融機関預金・貸出金残高

【単位：百万円、％】

| | 預 金 | | | 貸 出 金 | | |
|-----|---------|-------|-------|---------|-------|-------|
| | 残 高 | 前年同月比 | 前 月 比 | 残 高 | 前年同月比 | 前 月 比 |
| 末 残 | 369,238 | 0.20 | -0.48 | 146,393 | -0.35 | -2.97 |
| 平 残 | 367,329 | 0.35 | 2.46 | 147,727 | -0.08 | -0.57 |

預金は、末残が前年同月比で742百万円、0.20%増加したが、前月比では、1,815百万円、0.48%減少している。また、平残においては、前年同月比で1,292百万円、0.35%増加し、前月比でも8,828百万円、2.46%増加している。

一方、貸出金は、末残が前年同月比で521百万円、0.35%の減少となり、前月比でも4,491百万円、2.97%減少している。平残においては、前年同月比で125百万円、0.08%減少し、前月比でも、858百万円、0.57%の減少となった。

8. 手形交換高

【単位：枚、百万円、％】

| | 枚数/金額 | 前年同月比 | 前 月 比 |
|---------------|--------|----------|--------|
| 交 換 枚 数 | 26,901 | 16.03 | 16.92 |
| 交 換 金 額 | 22,896 | 46.89 | 40.01 |
| 不 渡 り 手 形 枚 数 | 54 | 1,700.00 | 440.00 |
| 不 渡 り 手 形 金 額 | 41 | 3,316.58 | 148.02 |

(資料出所：長岡手形交換所)

当金庫が参加している長岡手形交換所における手形交換高は、交換枚数が前年同月比で3,718枚、16.03%増加し、前月比でも3,894枚、16.92%増加している。また、交換金額においては前年同月比で7,309百万円、46.89%増加しており、前月比でも6,544百万円、40.01%増加となっている。なお、不渡手形は54枚、41百万円発生している。

法的整理（負債1,000万円以上）による県内企業倒産8件（前年同月2件、前月7件）、負債総額25億円（同27億円、同8億円）となっている。地区別では、新潟市が3件、長岡市が2件、三条市が1件、南魚沼郡が1件、中魚沼郡が1件発生している。業種別は、建設業が2件、製造業2件、小売業2件、サービス業1件、運輸が1件となっており、倒産原因は、販売不振が7件、その他1件となっている。

当月の企業倒産は、前年同月比では、件数で6件の増加となり、負債総額は2億円の減少となっている。前月比では件数は1件増加し、負債総額は17億円増加している。なお、負債総額10億円以上の大型倒産は発生していない。

県内経済は、緩やかに持ち直してきているものの、欧州の債務不安の再燃を背景に株安、円高が再び進行するなど景気の本格的な回復の見通しは立っておらず、引き続き企業の倒産動向に注意を払う必要がある。